

防災対策とチェック

▶ 防災対策

事前に準備出来ているか、常にチェック☑しましょう。

家の中の安全対策

☐	家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる	部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。
☐	家具の転倒を防ぐ	家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。家具が転倒してドアや避難経路をふさがないように配置(レイアウト)を工夫する。
☐	寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない	就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。
☐	安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない	玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

家具の転倒、落下を防ぐポイント

☐	タンス・本棚	L字金具やポール式器具などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。
☐	食器棚	L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。
☐	照明	照明器具などはチェーンや金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。
☐	冷蔵庫	固定器具やポール式器具、ワイヤーで壁や天井に固定する。
☐	テレビ	粘着マット等を敷いて転倒を防ぐ。裏側を固定器具やワイヤー等で固定する。
☐	ピアノ	耐震マットや耐震パット、キャスター固定具で移動を防ぐ。L字金具やワイヤー、ロープなどで転倒を防ぐ。 ※固定等をしていてもピアノの下には避難しないでください。

家の周囲の安全対策

☐	屋根	不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。
☐	窓ガラス	飛散防止フィルムをはる。
☐	プロパンガス	ボンベを鎖で固定しておく。
☐	ベランダ	植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。
☐	ブロック塀・門柱	土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

▶ 非常時持ち出し品は定期的に点検を!

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、スコップなど。

過去の震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、新聞紙、補助用具としてスコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持ち出し品は、使用するときには支障のないように、定期的に点検しておきましょう。
チェックシートにとらわれず、ご自身の必要なものを持ち出しましょう。

津久見市 災害時防災情報 電話サービス

津久見市では、携帯電話やスマートフォンをお持ちでない方を対象に、ご家庭の固定電話やファクシミリに災害時の緊急速報メールと同じ内容の情報をお伝えする無料のサービスを実施しています。

詳しくは津久見市防災危機管理室 (0972-82-9500) までお問合せください。